

## ICT 活用研修開発のための視察調査に関する記録・取りまとめ④

事業名	平成30年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」 I. 教職員の資質能力向上の推進 (ii) 教職員研修プログラムの構築事業
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	麻生工科自動車大学校インタビュー調査
開催日時	2018年11月01日 09時00分～10時00分
場所	麻生工科自動車大学校（福岡県福岡市博多区）
出席者	委員：岩切直子 猪俣昇 視察先担当者：永江貴史 中村秀一 進行・記録：細野康男 石川大樹
聞き取り調査報告	<p>麻生工科自動車大学校における ICT 活用事例の聞き取り調査を実施した。</p> <p>永江貴史 教務部 校長代行補佐 中村秀一 教務部 整備系 サブリーダー</p> <p>1. 現状、eラーニング含め ICT をどのように活用をされているか？ 〔中村〕 自動車整備2級の国家試験の過去問題をデジタル・ナレッジ社の学習システム「ナレッジ・デリバー」で学習できるシステムを学生に提供している。</p> <p>過去7年分の過去問を提供。 学生がテストを受け、自分で採点すると、結果と答えと解説が出てくるため、自分でここが間違っているのだな、と見比べることができる。計算問題は計算のやり方を学生向けに誰でもわかるように解説している。</p> <p>試験前に色々な学年度（の問題）をやるようになると、自分の進捗もみられる。何%できた、前回は何%だったとか。 こちら（教員）も管理して、「この問題の出来が悪いよ」（と生徒の出来を管理すること）などにも使える。</p> <p>夏休みの友のようにこれをやりなさいと課題として生徒に出したこともある。そうすることで休み中でも学生の動向や、どのくらい勉強したかを（管理画面で）チェックできる。</p>

(連絡ツールとして) クラス用の line もあるため担任が連絡してコミュニケーションをとることもできる。

国家試験は色々な分野で出るため、紙での過去問提供よりも年度目次にどこに何の問題があるか? 例えば「ここにエアコンの問題がある」などこちらで管理できる。

## 2. テストの教材は誰が、どのように制作?

教員が自分たちで、毎年過去問を読み取り作成している。

## 3. 学生の評判・得た効果は?

まだまだ結果と直結するところまでは来ていないと思う。ただし専門学校なので国家試験を合格しないで卒業する子もいる。

在校生は教員の目が届くからよいが、試験を合格せずに卒業した卒業生をどのように対策していくかというところで、今までは学校に来てもらって問題を渡すことや、学校で少し模擬試験を受けさせたりとしてはいたが、どちらにも負担になる。

(そのため) 在学中に使っていた ID で (引き続きナレッジ・デリバーでの国家試験対策問題を) 受けることができるようにして、卒業生が勉強している内容の管理ができるようにしたことで (卒業生サポートとして) 使えると思っている。

## 4. 課題・今後取り組みたいこと

教科書をみんな iPad にしたい。留学生用にフリガナ (ひらがな) が欲しいから。デジタル化して簡単にルビがふれたら良いと思う。

実習で技術指導を見せる時にやっぱり大人数だと近くに集めても手元まで見えない。お料理教室じゃないが、クローズアップしたものが共有して見られるようになるとすごく良いなと思うこともある。今は5~6人のグループそれぞれを回って同じことを説明している。それが、一発で (生徒に) 理解してもらえるようになると良いかも知れない

### 5. 動画教材を作るなら、どんな動画を作りたいか？

細かく分ける。例えば何かを修理するのって、確認するところから直すところまで膨大なものになってしまう。そのため一連の流れをそのまま1つの動画にするのはなかなか難しい。  
この点検はこうやりましょうとか、このようなことに有効とか、小さな部分にすることで、知りたい部分だけを選択して学習することができる。

以上

見学内容所  
感

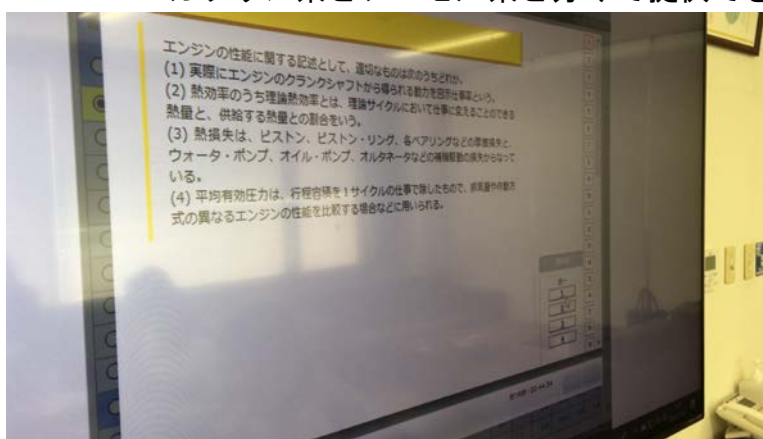
#### (見学内容)

#### ◆株式会社デジタル・ナレッジのLMS(学習管理システム)

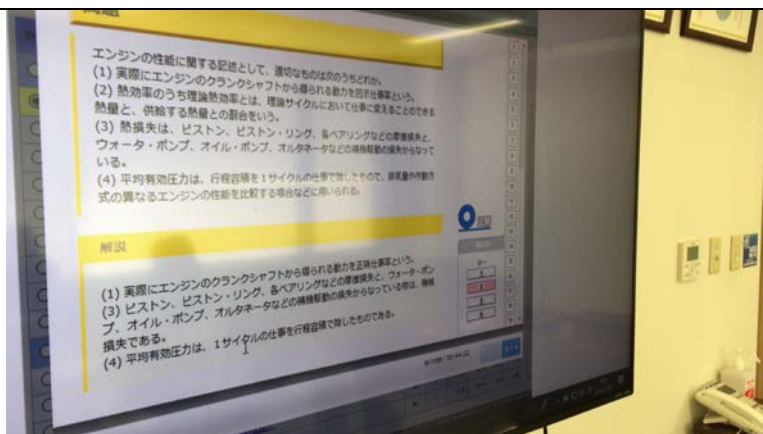
ナレッジ・デリバー上での国家試験対策問題のテストを閲覧  
(写真1. 2. 3)



(写真1) ナレッジ・デリバー上の国家試験過去問  
ガソリン系とディーゼル系と分けて提供できる



(写真2) 回答は4択問題、ボタンで回答



(写真3) 正解/不正解の結果と解説が出てくる。内容はすべて教員が毎年の出題問題を読み取ってテキストを作成

(所感)

- ・ 卒業生へのフォローアップという観点での学習システム活用はアフターケアという観点から有用性を感じる
- ・ 留学生の問題を ICT 活用で改善する構想は意義がある
- ・ 1回で理解できない技術指導の補完としての動画活用
- ・ テキストの iPad 電子教科書化とルビ（ひらがな）振り
- ・ プリントの内容管理などは煩雑になりやすいが、デジタルデータでのインデックス（索引）化による管理は、教員の負担を減らすことにつながると感じた。

以上